

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名	ごみ収集	事業番号		010-030	
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境業務課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①4Rの推進とごみの適正処理体制の確保				
			有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量		目標値	628g(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)つくる責任つかう責任	ターゲット	12.2,12.5		
			有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量		目標値	643g(2019年度)	
有	現状値	643g(2019年度)		目標値	638g(2023年)				
2	関連計画		堺市一般廃棄物処理基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画						
3	事業開始年度		昭和 34 年度		点検対象年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、堺市廃棄物の減量化及び適正処理に関する条例						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		市民、市内事業者			対象数	単位	
						30,471	事業所	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		家庭ごみ及び事業系一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないよう収集運搬を行う。また、家庭ごみのうち、資源化が可能なごみを分別して収集運搬することにより循環型社会の構築に寄与する。					
			事業内容 (目的を達成するための手段)		<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭系ごみ」については、「生活ごみ」(週2回)の計画収集をはじめ、「粗大ごみ」や家庭の引越し等による「臨時のごみ」(申込)の有料収集を実施。 ・資源化が可能な「ペットボトル」「缶・びん」は月2回、「プラスチック製容器包装」は週1回、「小型金属」は月1回、それぞれ収集を行い資源の有効利用を図る。 ・「事業系ごみ」については、継続のごみ(申込・週6回)もしくは臨時のごみ(申込)の有料収集を実施。 			
8	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など							
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載							
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)		収集運搬業務委託業者					
10	公民連携・協働事業							

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	資源ごみ収集量		t	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
				目標値	12,748	13,420	12,906	14,172
				実績値	13,379	12,839		
	当該指標を選定した理由		循環型社会の構築を目指す中で、各種リサイクル法が整備されごみ行政が新たな方向性で進むうえで、本市のリサイクル率についても向上させる必要があるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		目標は、第3次一般廃棄物処理基本計画策定ベースによる推計値 ※資源は全市的に収集している缶・びん、ペットボトル、プラスチック製容器包装、小型金属を設定						
12	活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績		目標		
	不適正排出する集合住宅やステーション等への啓発案件数		件	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
				目標値	-	-	70	
				実績値	67	70		
	当該指標を選定した理由		不適正排出を是正することで分別が促進され、資源ごみ回収量やリサイクル率の向上に繋がるため。(令和5年度に新たに目標値を設定)					
目標値の設定根拠・算出方法		迅速かつ適正な収集の維持・向上に向けては、排出段階での協力が不可欠であることから、不適正排出者に対する実効性のある啓発を指標に設定し、目標値は昨年度実績を設定している。						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ごみ収集	事業番号	010-030
-------	------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	5,294,859	5,330,373	5,422,409	5,346,537	5,454,067	
13 財源内訳	国支出金				0	
	府支出金				0	
	市債		4,700		0	
	その他 ()				0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)	480,433	481,875	532,287	462,432	483,019
	一般財源	4,814,426	4,843,798	4,890,122	4,884,105	4,971,048
14 人件費 (b)	70,600	57,800	63,500	88,600	87,650	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	5,365,459	5,388,173	5,485,909	5,435,137	5,541,717	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源	
		R4	R5				R4	R5		
16 事業費内訳	R4	決算	5,254,829	4,792,397	消耗品費	R4	決算	374	374	
										R5
	情報システム開発・運用・保守委託料 (IT経費)	R4	決算	63,412	63,412	通信運搬費	R4	決算	539	539
		R5	予算	63,554	63,554		R5	予算	827	827
	各業務委託料 (その他)	R4	決算	17,708	17,708	パンチ入力・事後処理・ファイリング等委託料	R4	決算	793	793
		R5	予算	18,884	18,884		R5	予算	908	908
	印刷製本費	R4	決算	5,581	5,581	物品等修繕料	R4	決算	355	355
		R5	予算	6,290	6,290		R5	予算	375	375
	会計年度任用職員報酬	R4	決算	2,622	2,622	その他 (旅費、筆耕翻訳料など)	R4	決算	324	324
		R5	予算	2,610	2,610		R5	予算	3,145	3,145

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 資源ごみ収集量	t	13,379	12,839
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,458,336	1,466,454
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	109,002	114,219

備考 (算出についての説明等) 資源ごみ収集量は、工場への搬入量の合計である。年間経費は、資源・小型金属の委託料の合計である。

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	資源ごみ収集量の実績は僅かながら減少しているが、おおむね前年度と同等の実績となり、令和4年度の達成度は96%となった。なお、資源ごみ収集量の減少に加え、入札により小型金属の収集運搬にかかる委託料が増額したため、単位当たり経費は若干上昇した。
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	一般廃棄物を迅速かつ定期的に収集運搬することにより、市民及び事業者の生活環境の保全上支障がないように必要な措置を講じた。市民及び事業者に対して、ごみの正しい分け方や出し方の周知を継続し、その意識の高揚を図ることが基本計画等のKPIに掲げる家庭系ごみ排出量の減少に寄与すると考える。
----	--